

広島県立西条特別支援学校



学校だより



後期の学習が始まりました。児童生徒は文化祭に向けて準備を始めています。引き続き学校でも感染症対策に努めながら、日々の教育活動を行ってまいります。御理解御協力の程よろしくお願ひします。

【チャレンジ】 県立広島大学模擬講義

大学の勉強ってどんな感じ？
高等部生徒が体験しました

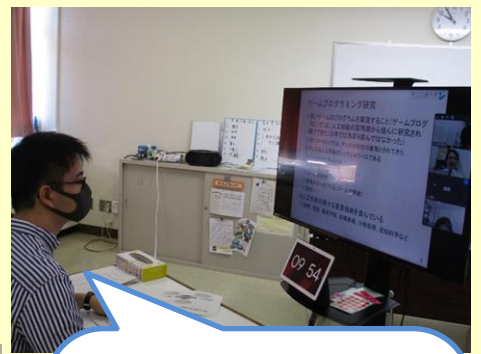
9月9日（木）高等部Ⅰ類型生徒が、県立広島大学模擬講義を受講しました。新型コロナウイルス感染症対策で、オンラインでの受講となりましたが、生徒たちは自分の端末を使って県立広島大学の先生と質疑応答などやりとりをしていました。



第1部の講義は、地域創生学部 佐々木宣介先生の「ゲームプログラムの進歩」でした。人工知能は最近の研究ではなく歴史があることや、プログラミングの学習には数学や英語が大事だというお話がありました。

昔からいろんな人が研究や実験を繰り返したことによって、人工知能が出来てきたことが分かりました。確か藤井聡太さんもAIを使った練習をしているとニュースで見ました。日常でも、AIが広まっているなと思いました。すごいと思いました。

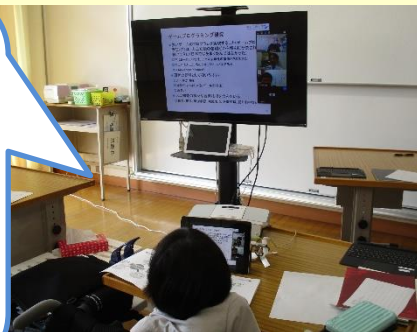
第2部の講義は、保健福祉学部 細川淳嗣先生の「子どもの言葉の育ちと言語聴覚士」でした。「子どもはなぜ効率的に言葉を獲得できるのだろうか」という問いに対して、分かりやすく話をしてくださいました。途中、先生の方から指名があるなど、楽しいやり取りもありました。



言語の恣意性について初めて知った時、今まで疑問に思っていた「なんでリンゴと言うのか」という素朴な疑問が解決された気がして嬉しく思いました。

今回の講義で、私は、子どもは相手の表情や声などで物や伝えたいことを理解し学習することが分かりました。

そして、私も小さいころ、このように言葉を理解し学んできたのだと、とても感じました。



生徒たちは、初めての大学の講義を体験し、自分の進路について深く考えるきっかけになったのではないかと思います。